

# 需給調整市場の運用等について

第17回 制度設計・監視専門会合  
事務局提出資料

2026年1月30日（金）



電力・ガス取引監視等委員会  
Electricity and Gas Market Surveillance Commission

## 1. 1月中旬までの需給調整市場の動き

## 2. 2026年度における需給調整市場の地域間連系線の確保量について

# 前日取引（三次調整力②）の動き（2025年4月1日～2026年1月10日）

## 前日取引の概況（4～11月は確報値、12～1月は速報値）

- 12月の平均約定単価は、全てのエリアにおいて、前月比で低下した。
- 12月の最高約定単価は、北海道、中国、四国以外のエリアにおいて、前月と比較して低下した。特に、東北（195円→36円）、中部（200円→24.66円）、北陸（200円→4.54円）、関西（200円→6.66円）の各エリアにおいては、前月と比べて最高約定単価が大きく低下。

		北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州
平均約定単価※1 (円/ΔkW・30分)	4月	2.91	0.86	1.89	0.67	0.43	0.57	0.44	0.38	1.03
	5月	0.48	1.39	3.12	0.85	0.64	0.53	0.43	0.36	1.19
	6月	0.48	0.90	1.20	0.57	0.52	0.59	0.45	0.36	1.61
	7月	2.78	0.61	0.92	0.84	0.52	0.44	0.54	0.36	1.02
	8月	3.32	1.07	2.33	1.39	0.66	0.55	0.55	0.37	1.24
	9月	1.17	0.63	1.59	0.80	0.58	0.59	0.52	0.37	1.74
	10月	0.41	0.58	0.91	0.70	0.55	1.18	0.60	0.35	1.27
	11月	1.76	0.37	0.37	1.20	0.75	1.08	0.39	0.32	0.85
	12月	1.49	0.35	0.35	0.53	0.41	0.35	0.34	0.31	0.64
	1月※2	1.16	0.39	0.42	0.98	0.50	0.41	0.40	0.33	1.49

(※1) 平均約定単価は、「想定費用/約定量合計」で算出。

(※2) 1月は1月1日～10日までのデータを使用。

EPRXデータより事務局にて作成。

# 前日取引（三次調整力②）の動き（2025年4月1日～2026年1月10日）

最高約定単価 (円/ΔkW・30分)		北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州
	4月	79.91	195.00	97.00	200.00	4.02	200.00	33.25	7.19	60.00
	5月	7.59	195.00	195.00	200.00	75.00	200.00	39.87	78.83	197.00
	6月	49.00	195.00	97.00	200.00	200.00	75.00	89.00	10.96	197.00
	7月	49.00	195.00	200.00	200.00	65.54	84.41	89.00	89.00	89.00
	8月	97.00	195.00	133.10	200.00	92.99	200.00	49.00	49.00	11.04
	9月	65.75	195.00	121.85	200.00	6.47	92.99	92.99	92.99	197.00
	10月	16.32	195.00	163.24	6.78	12.29	197.00	25.89	149.94	197.00
	11月	49.00	195.00	47.11	200.00	200.00	200.00	5.26	0.35	30.73
	12月	49.00	36.00	4.80	24.66	4.54	6.66	15.00	6.55	4.99
1月※2	49.00	49.00	5.36	200.00	24.66	24.66	194.00	5.36	24.66	

最低約定単価 (円/ΔkW・30分)		北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州
	4月	0.33	0.33	0.33	0.33	0.35	0.33	0.33	0.33	0.33
	5月	0.32	0.33	0.33	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35
	6月	0.31	0.31	0.30	0.35	0.35	0.35	0.35	0.33	0.35
	7月	0.34	0.34	0.03	0.33	0.34	0.34	0.34	0.33	0.34
	8月	0.33	0.32	0.32	0.32	0.33	0.32	0.34	0.32	0.32
	9月	0.10	0.34	0.34	0.33	0.34	0.34	0.34	0.32	0.34
	10月	0.32	0.32	0.30	0.33	0.33	0.33	0.33	0.32	0.33
	11月	0.24	0.26	0.26	0.32	0.32	0.32	0.32	0.31	0.32
	12月	0.28	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
1月※2	0.29	0.31	0.33	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	

(※2) 1月は1月1日～10日までのデータを使用。

EPRXデータより事務局にて作成。

# 前日取引（三次調整力②）の動き（2025年4月1日～2026年1月10日）

想定費用※3 (億円)		北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州
	4月	1.06	1.30	4.83	0.49	0.03	1.04	0.17	0.25	1.03
	5月	0.09	2.26	9.69	1.48	0.12	0.98	0.32	0.28	3.63
	6月	0.22	1.34	3.58	0.79	0.09	0.69	0.26	0.18	3.93
	7月	1.25	0.75	2.10	1.16	0.04	0.90	0.12	0.29	1.61
	8月	1.38	1.46	4.17	1.06	0.05	0.73	0.14	0.27	1.78
	9月	0.23	0.68	2.93	0.61	0.03	0.90	0.39	0.33	5.58
	10月	0.18	0.65	1.47	0.15	0.02	1.51	0.20	0.23	0.98
	11月	1.54	0.43	0.52	0.59	0.03	0.74	0.11	0.20	0.91
	12月	1.35	0.47	0.25	0.15	0.02	0.20	0.13	0.11	0.52
1月※2	0.42	0.22	0.11	0.24	0.00	0.11	0.06	0.04	0.87	

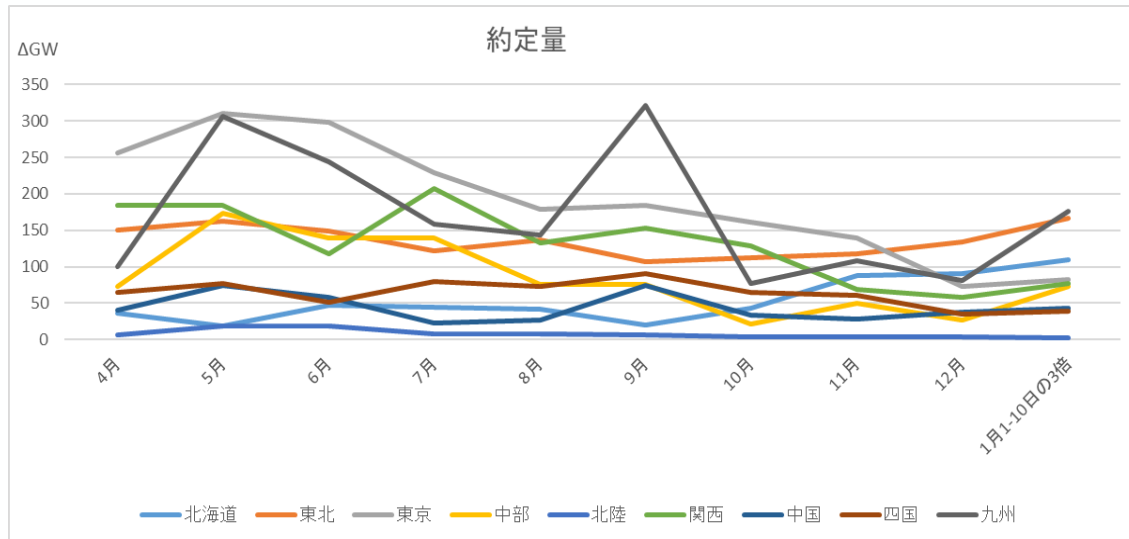
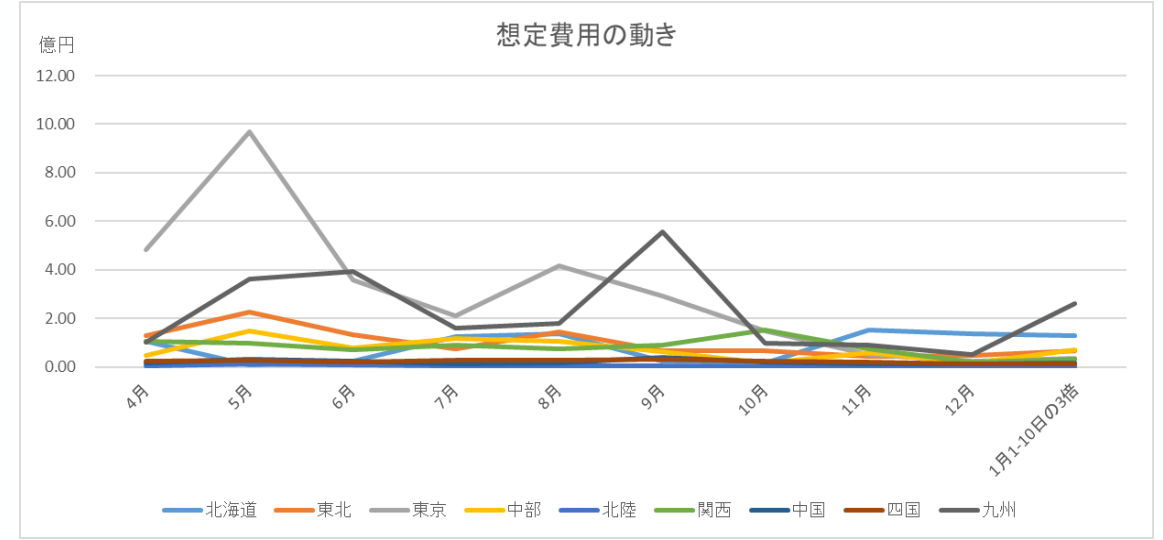
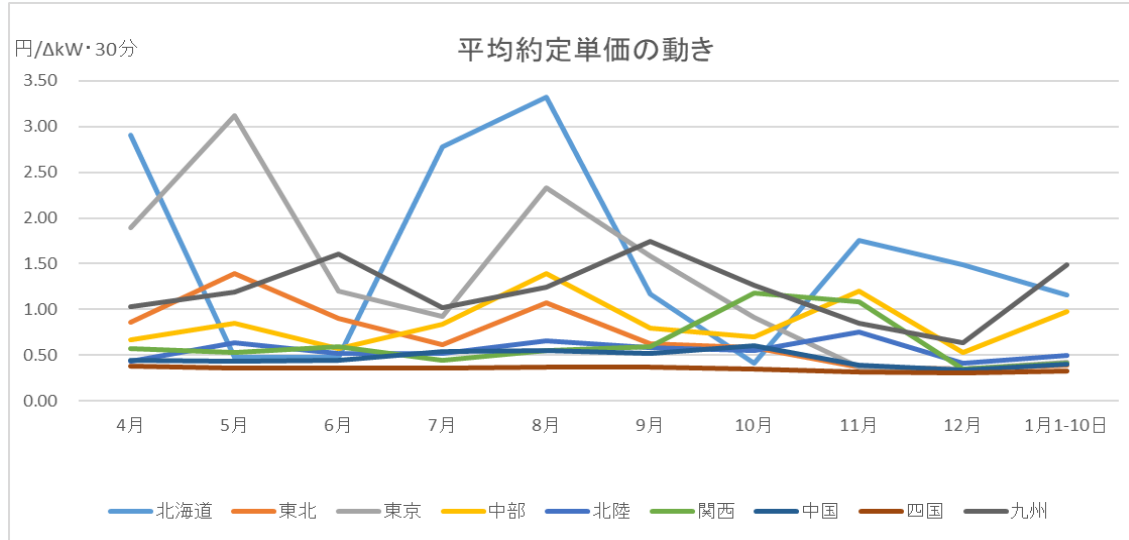
約定量 (Δ MW)		北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州
	4月	36,311	150,814	256,045	72,906	6,056	184,701	39,807	65,276	100,619
	5月	18,254	162,719	310,985	173,915	18,283	184,224	74,192	76,443	306,377
	6月	46,533	148,466	298,270	139,357	18,085	117,857	57,585	51,694	244,117
	7月	45,036	122,158	228,692	139,066	8,279	207,277	22,113	80,075	158,428
	8月	41,669	136,822	179,280	76,165	7,806	132,140	26,143	72,655	143,186
	9月	19,926	106,746	184,164	76,180	5,955	152,804	74,587	90,955	321,401
	10月	43,472	112,468	161,046	21,799	3,915	128,160	33,271	64,281	77,285
	11月	87,289	117,137	138,990	49,711	3,516	68,573	27,500	60,972	107,831
	12月	90,980	134,513	72,271	27,402	4,150	57,490	37,160	35,193	81,274
1月※2	36,593	55,608	27,267	24,445	748	25,566	14,565	13,054	58,696	

(※2) 1月は1月1日～10日までのデータを使用。

(※3) 想定費用は、案件ごとの約定単価×約定量を足上げて算出。未使用の起動費はTSOに返還される点に注意。

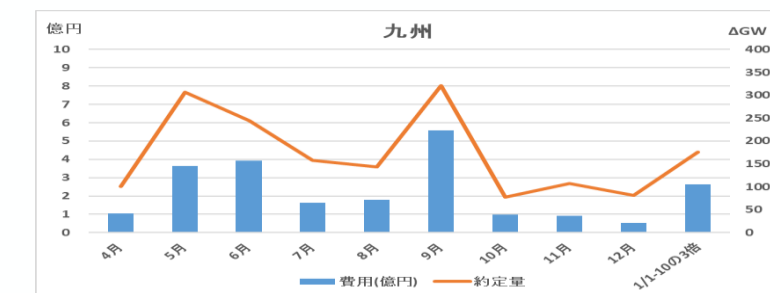
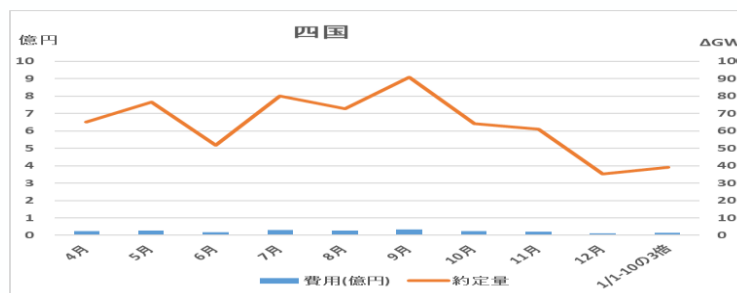
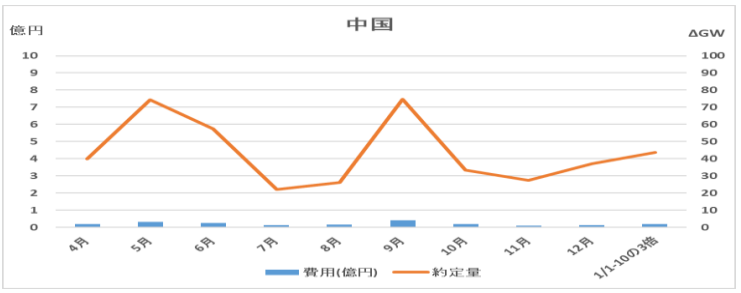
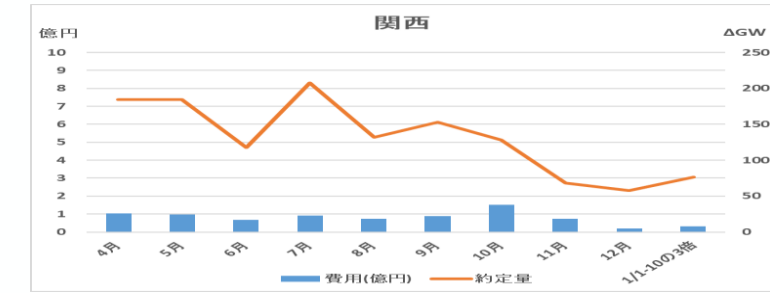
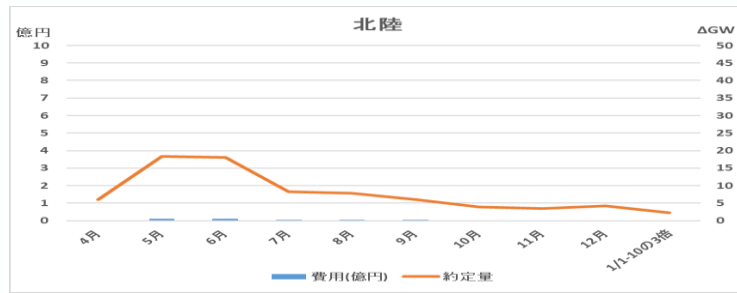
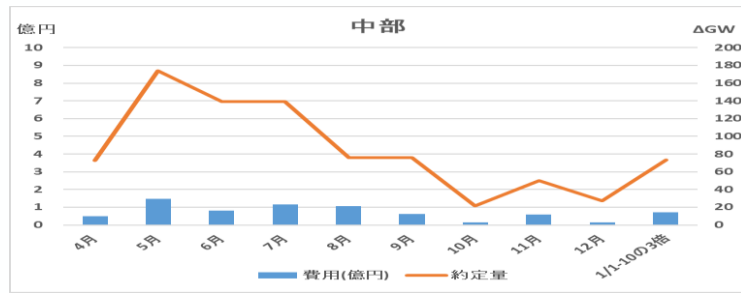
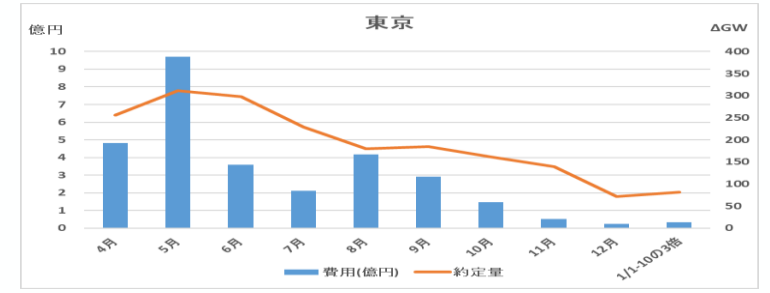
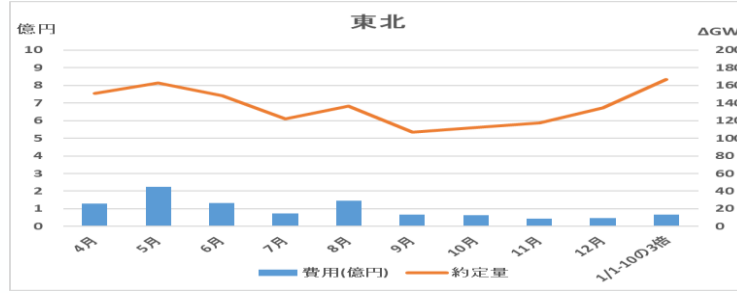
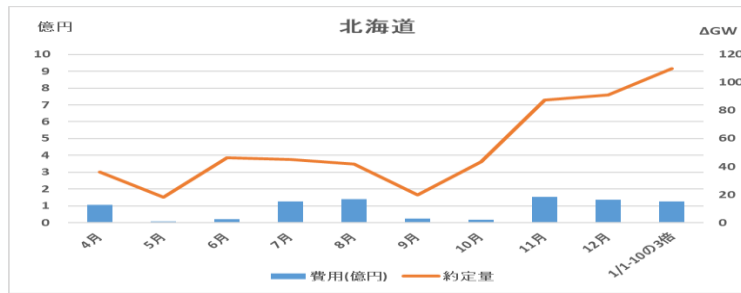
EPRXデータより事務局にて作成。

# (参考) 三次②の平均約定単価、想定費用、約定量の動向



(※) 想定費用・約定量：1月は1月1日～10日までのデータを3倍して比較。

# (参考) 三次②のエリア別の想定費用、約定量の動向



(※) 1月は1月1日～10日までのデータを3倍して比較。

# 週間取引（一次～三次①）の動き（2025年4月1日～2026年1月10日）

## 週間取引の概況（4～11月は確報値、12～1月は速報値）

- 12月の平均約定単価は、全てのエリアにおいて、前月比で上昇した。
- 12月の最高約定単価は、全てのエリアで上限価格となっていた。
- 12月の想定費用は、東北及び九州以外のエリアで、前月比で増加した。中部及び関西エリアでは、随意契約を結んでいる揚水発電機の稼働量が低下していたこともあり、約定量及び想定費用が高い水準となっている。

		北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州
平均約定単価※1 (円/ΔkW・30分)	4月	3.50	2.84	2.66	1.82	0.95	2.61	1.24	1.79	1.92
	5月	6.35	3.13	2.61	2.07	1.22	3.28	1.16	1.84	1.85
	6月	4.69	3.12	2.16	1.80	1.62	3.57	2.53	1.66	2.08
	7月	4.74	4.09	3.68	3.18	3.92	4.69	3.42	2.27	2.96
	8月	5.52	3.46	2.88	2.76	2.60	3.52	3.07	1.91	3.12
	9月	5.16	3.45	2.44	1.63	2.60	3.59	2.67	2.36	2.73
	10月	5.77	2.74	2.39	1.28	2.23	3.62	2.09	1.54	2.65
	11月	8.09	3.40	3.41	1.37	1.80	3.19	1.68	1.61	1.95
	12月	8.40	3.66	3.71	3.03	1.85	3.53	2.46	1.91	2.61
	1月※2	8.16	2.53	3.37	3.07	1.03	4.19	2.25	2.71	1.75

EPRXデータより事務局にて作成。

(※1) 平均約定単価は、「想定費用/約定量合計」で算出。週間商品は1ブロック3時間=6コマ（1コマ30分）のため、「約定量合計」は、「表中の約定量×6」で算出。

(※2) 1月は1月1日～10日までのデータを使用。



# 週間取引（一次～三次①）の動き（2025年4月1日～2026年1月10日）

最高約定単価 (円/ΔkW・30分)		北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州
	4月	19.51	7.93	19.50	8.23	7.15	10.80	19.51	19.51	19.51
	5月	19.51	19.51	19.51	8.34	6.30	19.51	19.51	17.13	19.51
	6月	19.51	16.47	19.51	19.51	19.51	19.51	19.51	19.51	19.51
	7月	19.51	16.47	19.51	19.51	19.51	19.51	19.51	19.51	19.51
	8月	19.50	16.47	19.51	19.51	19.51	19.51	19.51	19.51	19.51
	9月	19.51	16.47	19.51	19.51	19.51	19.51	19.51	17.78	19.51
	10月	19.51	19.51	19.51	19.51	19.51	19.51	19.51	19.51	19.51
	11月	19.51	19.51	19.51	19.51	19.51	19.51	19.51	15.39	19.51
	12月	19.52※3	19.52※3	19.51	19.51	19.51	19.51	19.51	19.51	19.51
1月※2	19.51	19.51	19.51	19.51	7.26	19.51	20.14※4	19.50	19.51	

最低約定単価 (円/ΔkW・30分)		北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州
	4月	0.35	0.35	0.33	0.35	0.35	0.33	0.35	0.35	0.35
	5月	0.36	0.36	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35
	6月	0.36	0.36	0.33	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35
	7月	0.36	0.81	0.03	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35
	8月	0.36	0.36	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35
	9月	0.36	0.36	0.35	0.36	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35
	10月	0.20	0.36	0.33	0.36	0.35	0.33	0.35	0.36	0.33
	11月	0.36	0.34	0.32	0.32	0.32	0.35	0.32	0.34	0.34
	12月	0.34	0.36	0.34	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.36
1月※2	0.39	0.35	0.34	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.36	

(※2) 1月は1月1日～10日までのデータを使用。

(※3) 持ち下げ供出に係る上乘せ分の価格が19.52円となっており、この価格は精算上は支払われない便宜的な価格であることを確認済み。

(※4) 発電事業者の入札価格登録の誤りによるものであり、適切な価格との差額はTSOに返還されること確認済み。

EPRXデータより事務局にて作成。

# 週間取引（一次～三次①）の動き（2025年4月1日～2026年1月10日）

想定費用※5 (億円)		北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州
	4月	14.83	25.09	29.63	3.26	2.34	29.57	6.16	4.27	10.72
	5月	25.33	26.97	28.30	3.59	2.24	27.51	4.65	4.58	9.98
	6月	16.74	16.22	22.57	2.63	2.75	31.97	10.68	3.87	9.27
	7月	13.46	7.14	42.49	5.41	5.54	24.79	10.74	6.11	10.73
	8月	6.82	12.02	33.96	3.23	5.03	15.61	10.94	5.33	16.12
	9月	7.06	14.60	31.44	3.22	3.81	17.04	9.73	5.72	15.99
	10月	6.21	21.22	21.90	2.78	4.05	13.92	7.65	3.31	11.95
	11月	6.90	20.76	18.25	5.72	3.25	22.94	4.81	2.74	9.21
	12月	7.43	20.44	21.20	10.33	3.56	24.70	10.61	3.88	6.10
1月※2	1.55	5.18	6.99	3.66	0.68	8.64	2.82	1.92	2.25	

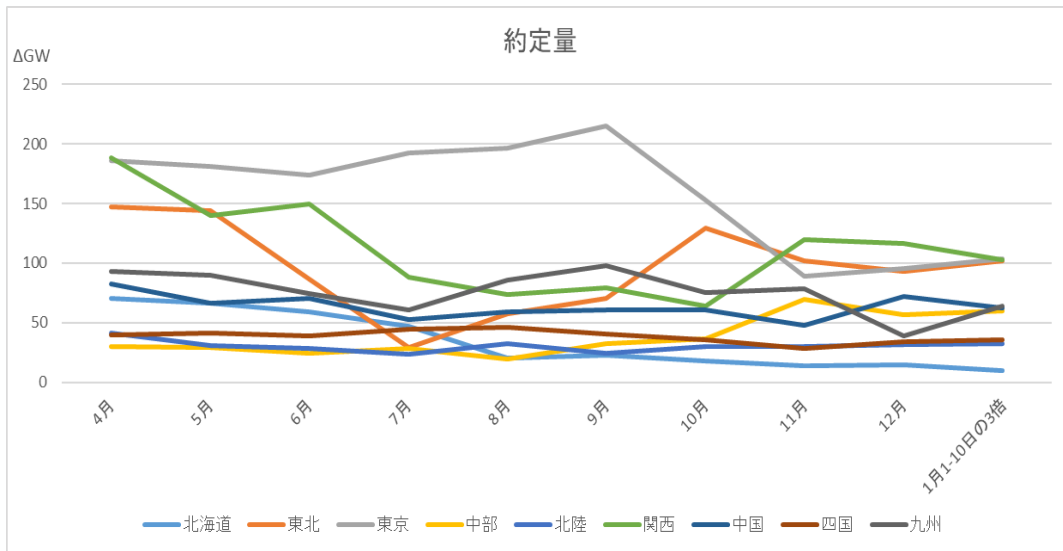
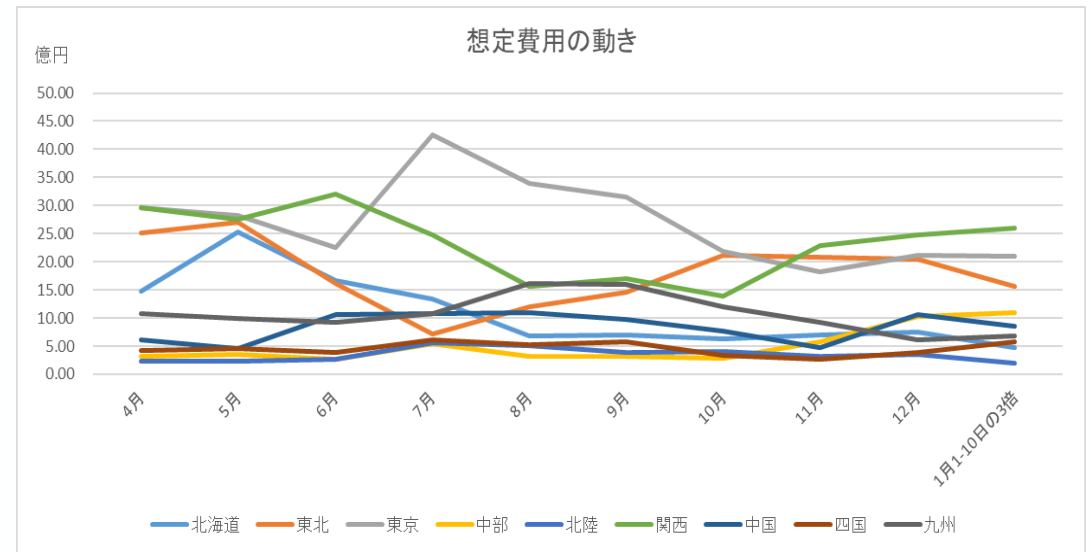
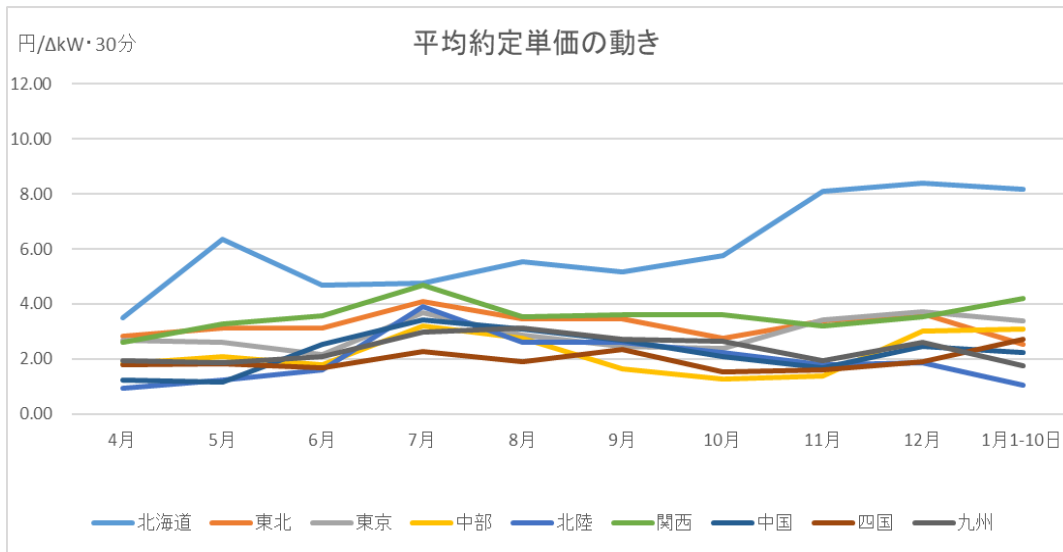
約定量 (Δ MW)		北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州
	4月	70,523	147,324	185,628	29,814	41,118	188,560	82,591	39,666	93,212
	5月	66,510	143,681	180,720	28,886	30,527	139,615	66,588	41,450	90,092
	6月	59,516	86,736	174,184	24,269	28,232	149,309	70,201	38,962	74,435
	7月	47,366	29,134	192,293	28,389	23,521	88,119	52,359	44,899	60,417
	8月	20,612	57,900	196,414	19,495	32,282	73,954	59,400	46,405	85,964
	9月	22,780	70,638	214,708	32,821	24,390	79,151	60,702	40,316	97,763
	10月	17,925	129,050	152,942	36,175	30,249	64,070	60,962	35,741	75,185
	11月	14,210	101,793	89,084	69,814	30,115	119,870	47,890	28,348	78,628
	12月	14,745	92,987	95,194	56,748	32,059	116,718	71,814	33,809	39,035
1月※2	3,172	34,071	34,562	19,877	10,955	34,349	20,919	11,822	21,413	

(※2) 1月は1月1日～10日までのデータを使用。

(※5) 想定費用は、案件ごとの約定単価×約定量を足上げて算出。未使用の起動費はTSOに返還される点に注意。

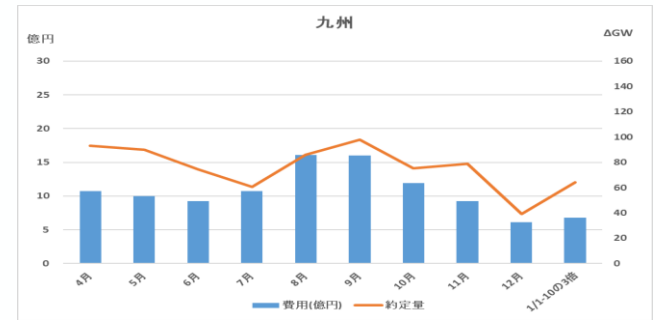
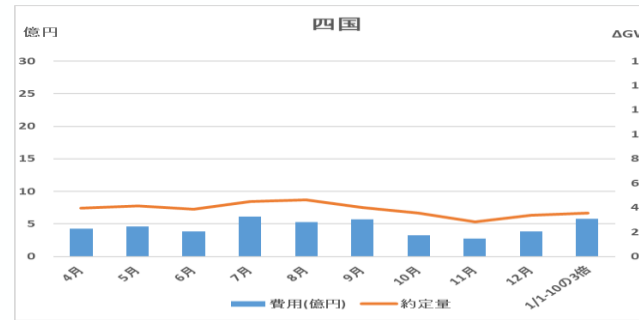
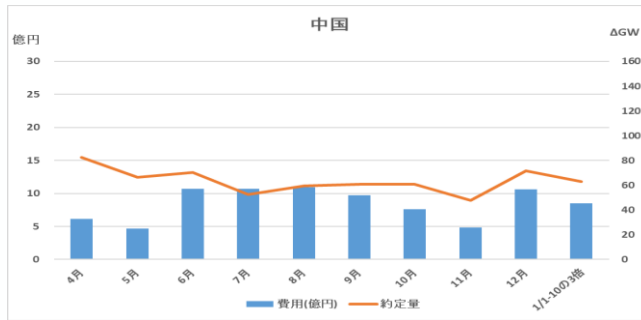
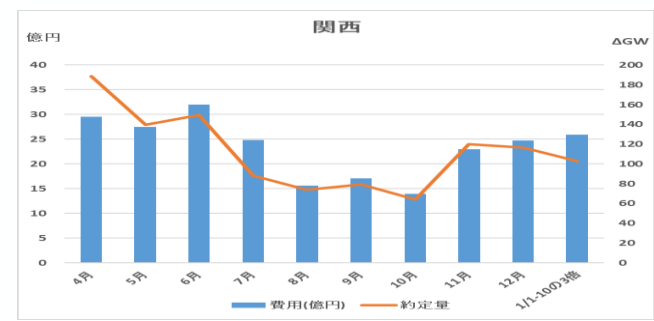
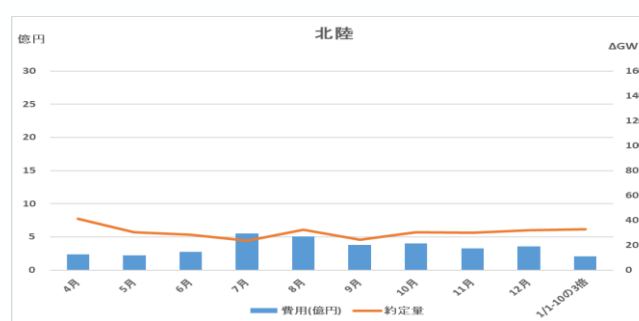
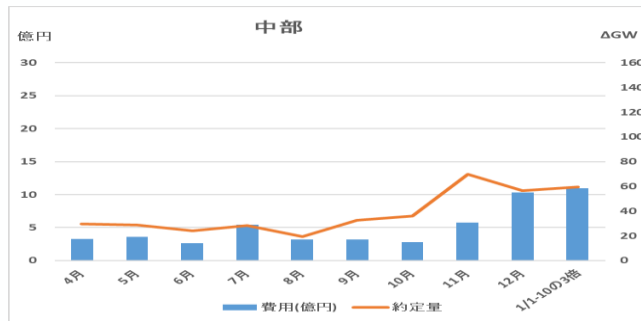
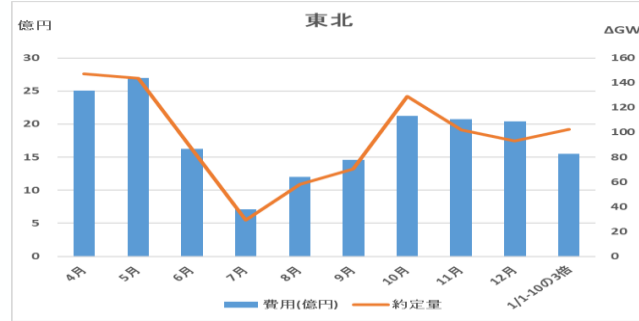
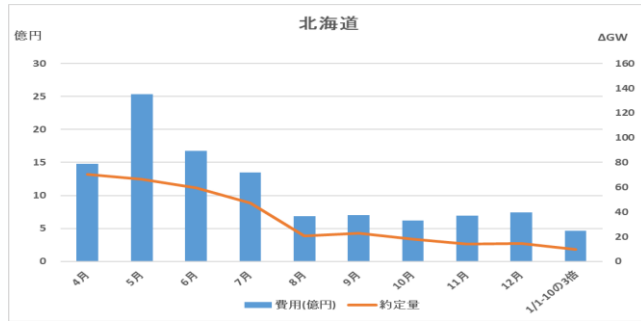
EPRXデータより事務局にて作成。

# (参考) 一次～三次①の平均約定単価、想定費用、約定量の動向



(※) 想定費用・約定量：1月は1月1日～10日までのデータを3倍して比較。

# (参考) 一次～三次①のエリア別の想定費用、約定量の動向



(※) 1月は1月1日～10日までのデータを3倍して比較。

# 各エリアの募集量・応札量・調達率の動向

## 各エリアの募集量・応札量・調達率の概況（2025年4月1日～2026年1月10日）

- 2025年4月1日～2026年1月10日の募集量、応札量及び調達率の状況は次頁以降のとおり。
- 一次調整力については、依然として**多くのエリアで未達が多い状況**。
- **複合商品**の動向はエリアによって様々であるが、直近、**多くのエリアで応札量が募集量を超過している状況**。  
また、**中部エリア**では、随意契約を結んでいる揚水発電機の稼働量が低下したこともあり、**募集量が高い水準**となっている。
- **関西エリア**では、随意契約を結んでいる揚水発電機の稼働量の低下により一時的に募集量が増加していたが、稼働量の復調等により、**12月下旬以降は募集量が減少**した。
- いくつかのエリアで募集量の変動が見られることから、約定単価や調達費用の動向含め、引き続き状況を注視していく。

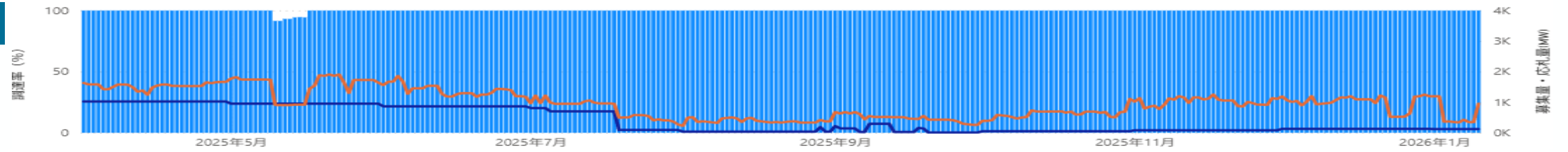
### <参考>

- 2025年4月 中部及び東北エリア 揚水随契開始（※中部エリアは2024年度も実施）
- 2025年4月 全エリア EPPS動作期待分の控除開始
- 2025年6月 全エリア 自然体余力の控除開始
- 2025年7月 北海道及び関西エリア 揚水随契開始
- 2025年10月 東京エリア 揚水随契開始

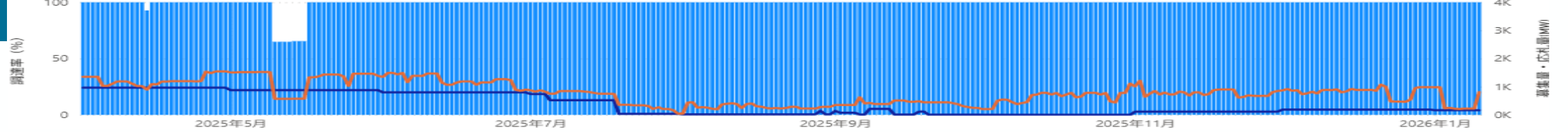
# 北海道エリアの募集量・応札量・調達率 (2025年4月1日~2026年1月10日)

● 調達率 ● MW募集量 ● MW応札量

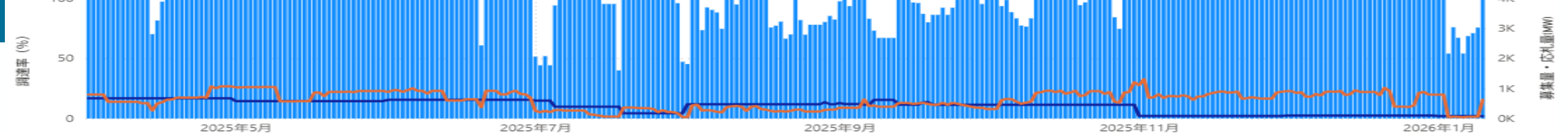
## 一次調整力



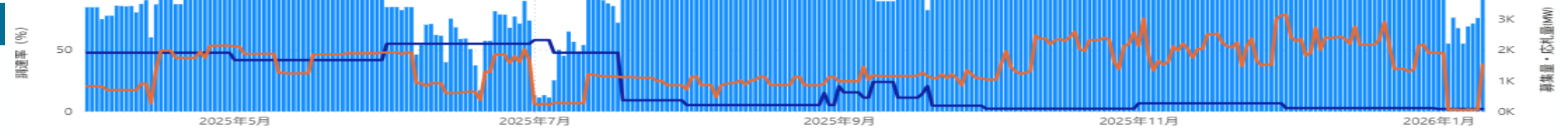
## 二次調整力①



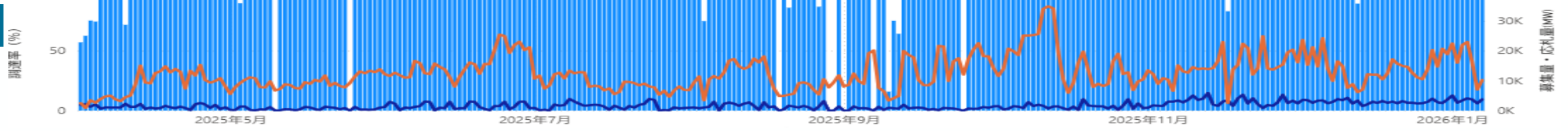
## 二次調整力②



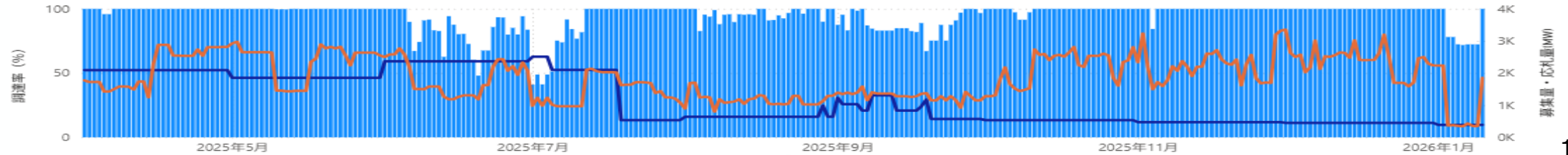
## 三次調整力①



## 三次調整力②



## 複合商品

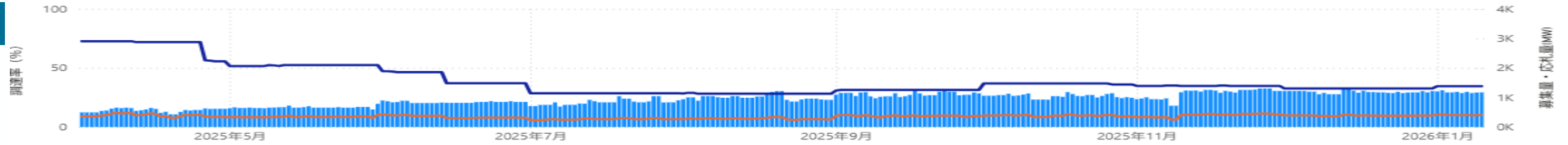


(※) 日単位での集計のため、募集量と応札量の関係と調達率が一致しない場合がある。

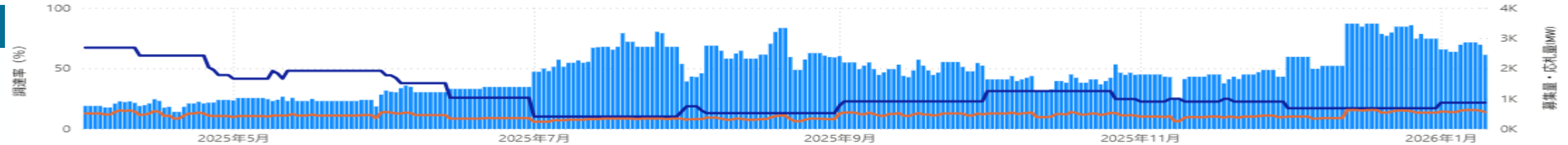
# 東北エリアの募集量・応札量・調達率 (2025年4月1日~2026年1月10日)

● 調達率 ● MW募集量 ● MW応札量

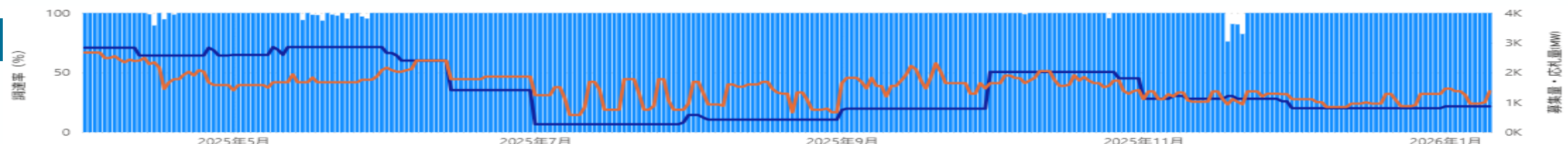
## 一次調整力



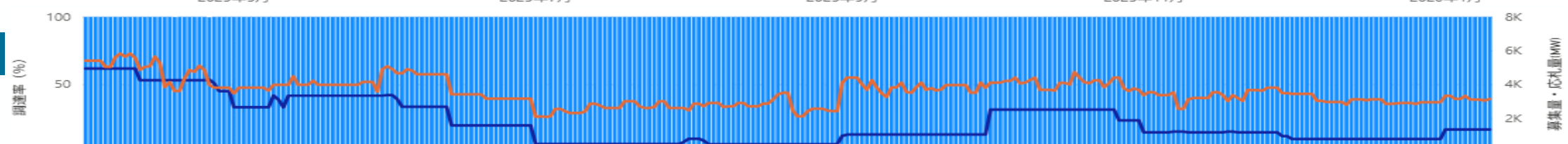
## 二次調整力①



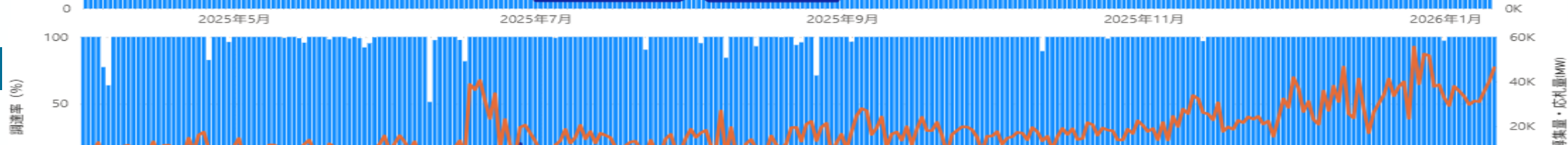
## 二次調整力②



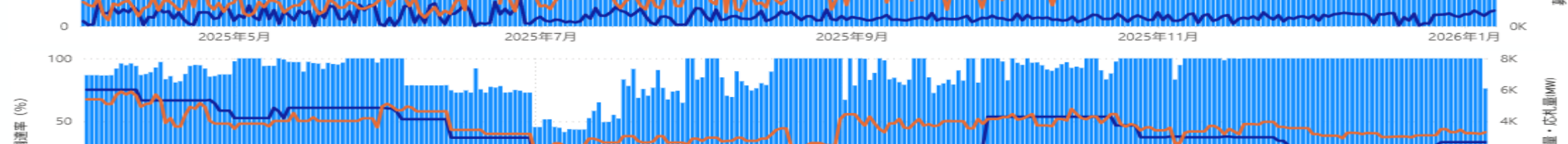
## 三次調整力①



## 三次調整力②



## 複合商品

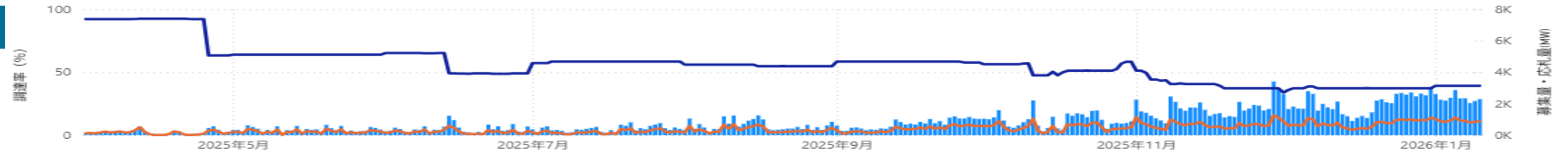


(※) 日単位での集計のため、募集量と応札量の関係と調達率が一致しない場合がある。

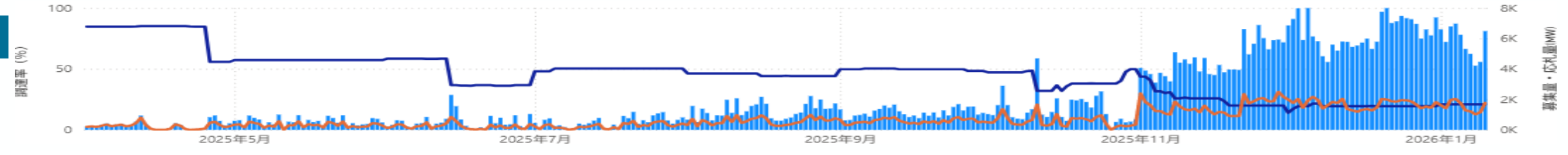
# 東京エリアの募集量・応札量・調達率 (2025年4月1日~2026年1月10日)

● 調達率 ● MW募集量 ● MW応札量

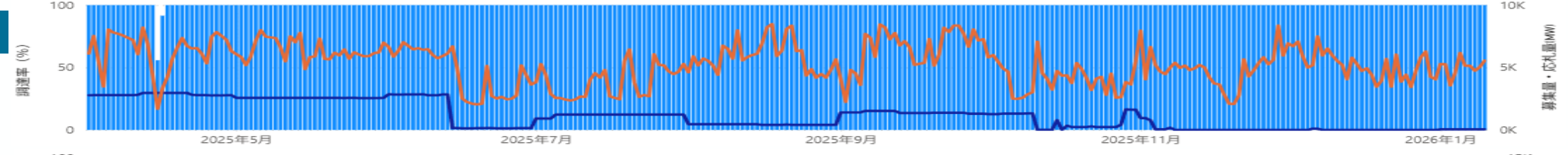
## 一次調整力



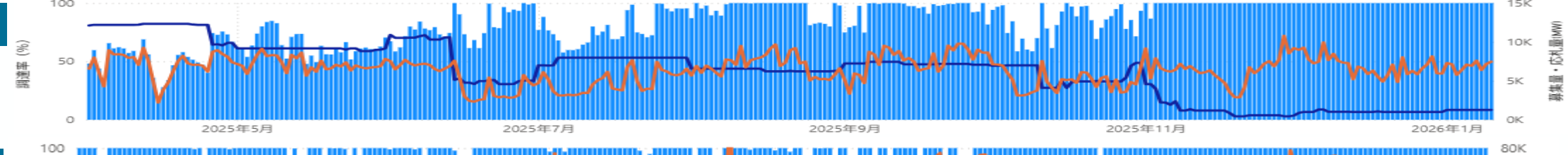
## 二次調整力①



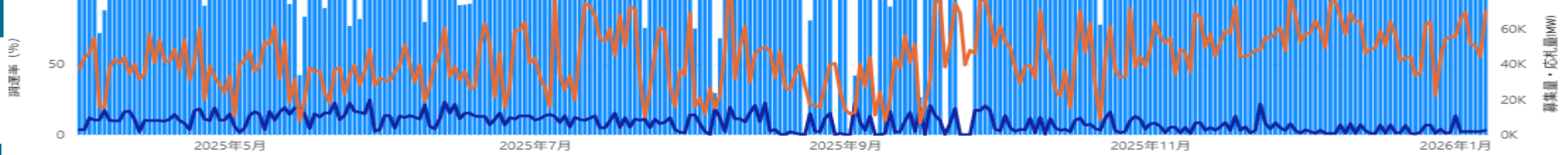
## 二次調整力②



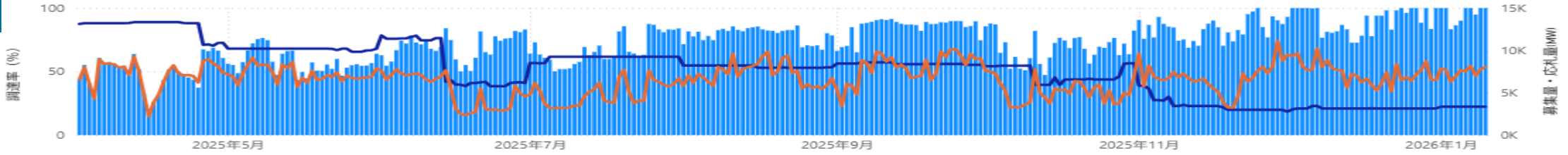
## 三次調整力①



## 三次調整力②



## 複合商品



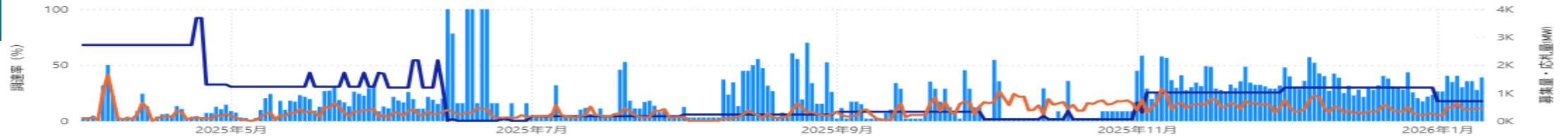
(※) 日単位での集計のため、募集量と応札量の関係と調達率が一致しない場合がある。



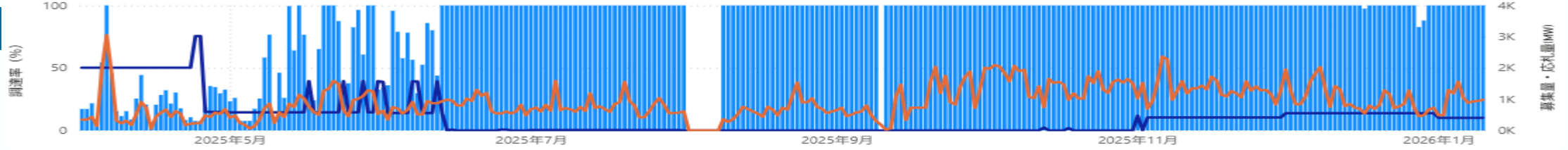
# 中部エリアの募集量・応札量・調達率 (2025年4月1日~2026年1月10日)

● 調達率 ● MW募集量 ● MW応札量

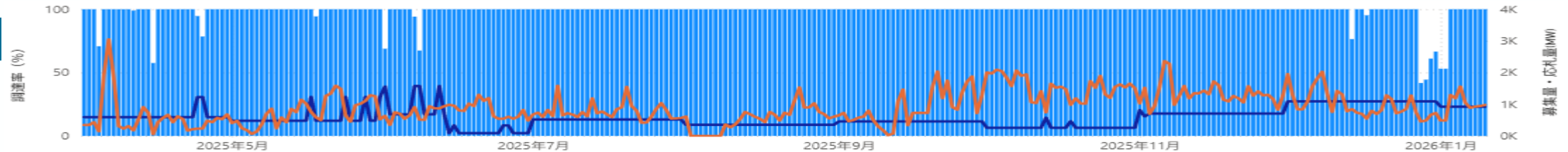
## 一次調整力



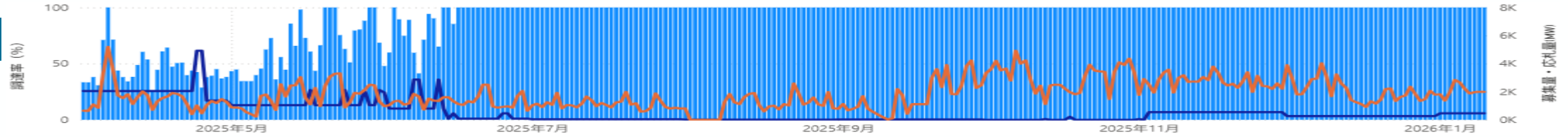
## 二次調整力①



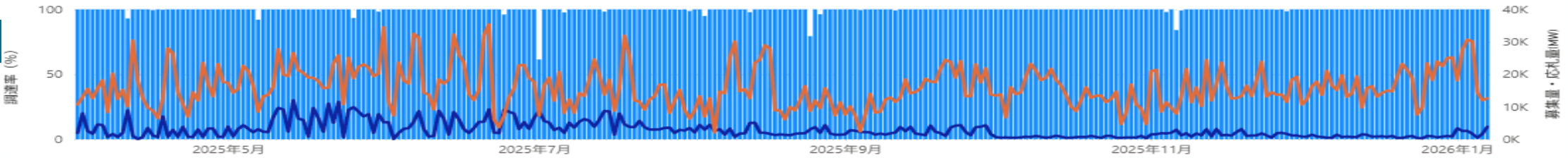
## 二次調整力②



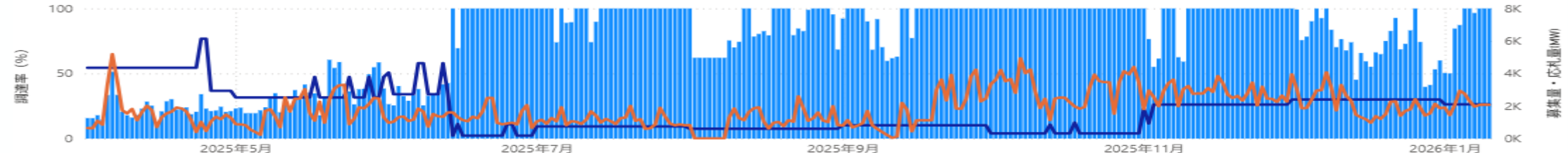
## 三次調整力①



## 三次調整力②



## 複合商品

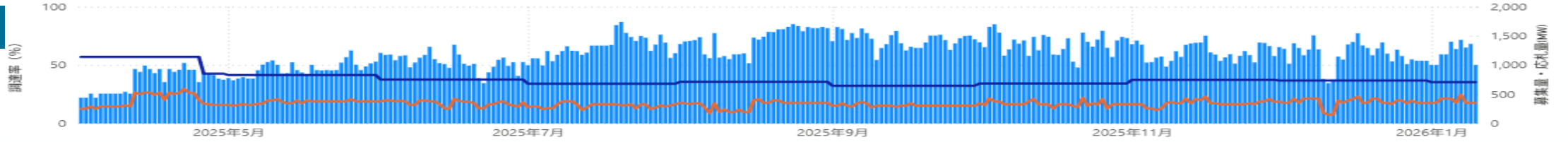


(※) 日単位での集計のため、募集量と応札量の関係と調達率が一致しない場合がある。

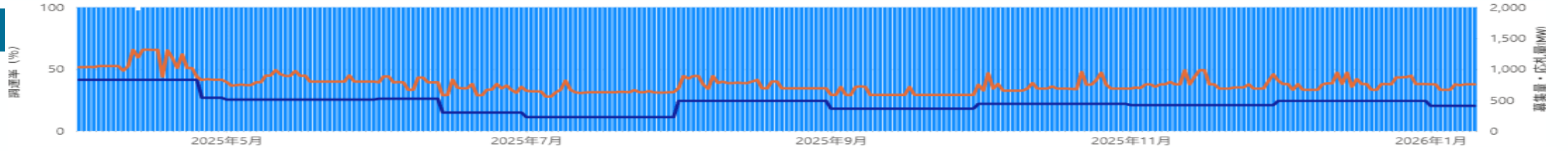
# 北陸エリアの募集量・応札量・調達率 (2025年4月1日~2026年1月10日)

● 調達率 ● MW募集量 ● MW応札量

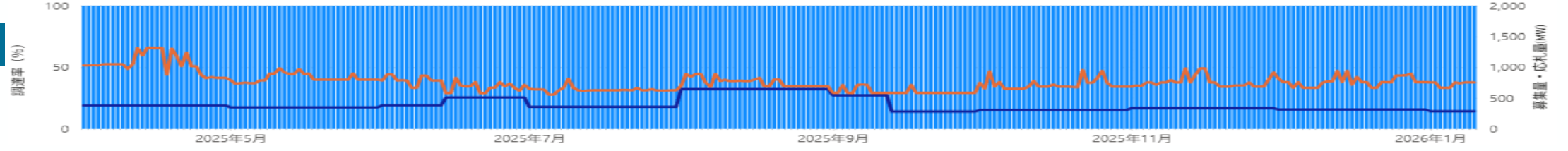
## 一次調整力



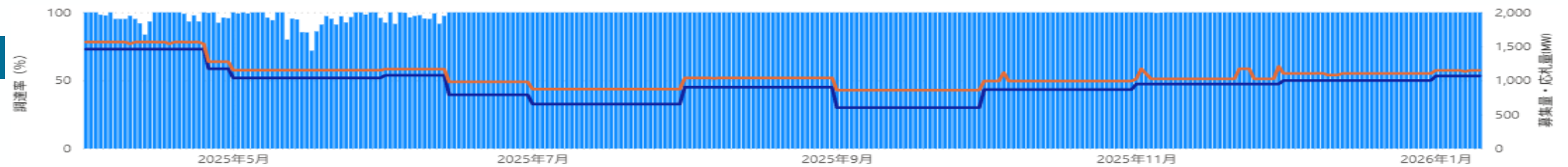
## 二次調整力①



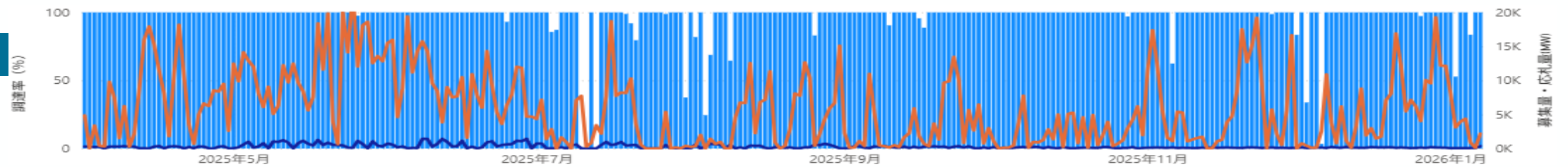
## 二次調整力②



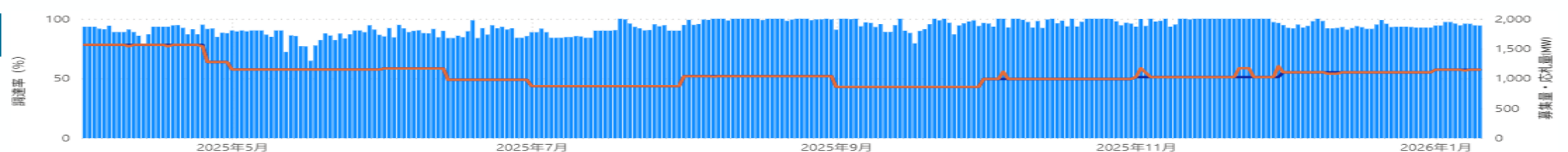
## 三次調整力①



## 三次調整力②



## 複合商品

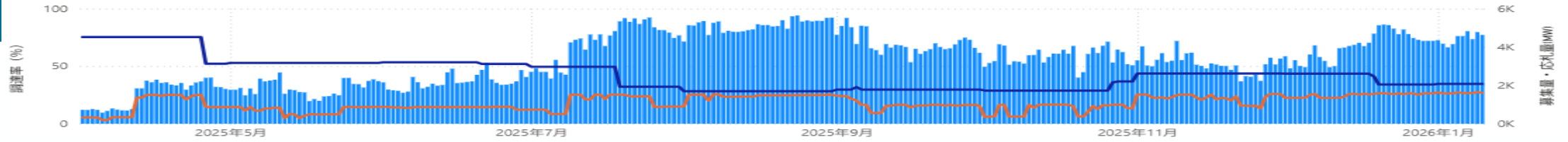


(※) 日単位での集計のため、募集量と応札量の関係と調達率が一致しない場合がある。

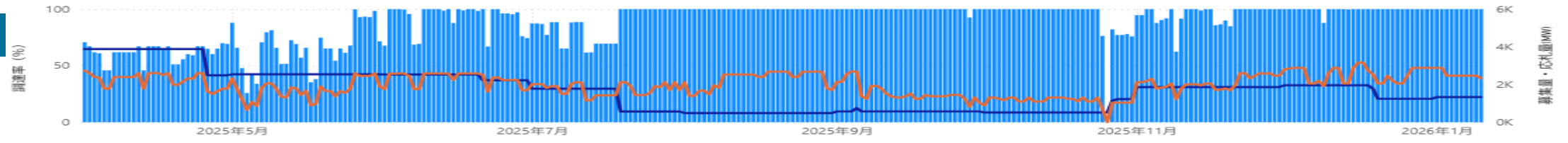
# 関西エリアの募集量・応札量・調達率 (2025年4月1日~2026年1月10日)

● 調達率 ● MW募集量 ● MW応札量

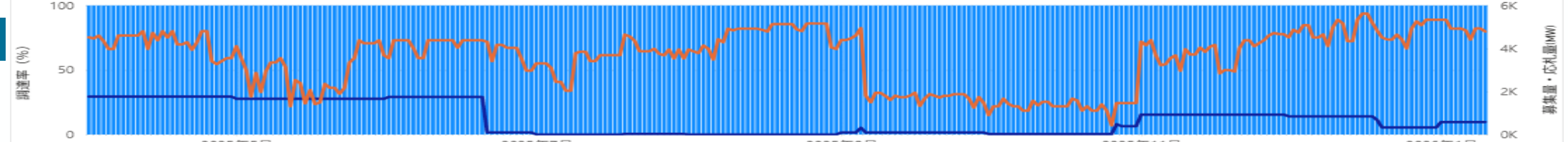
## 一次調整力



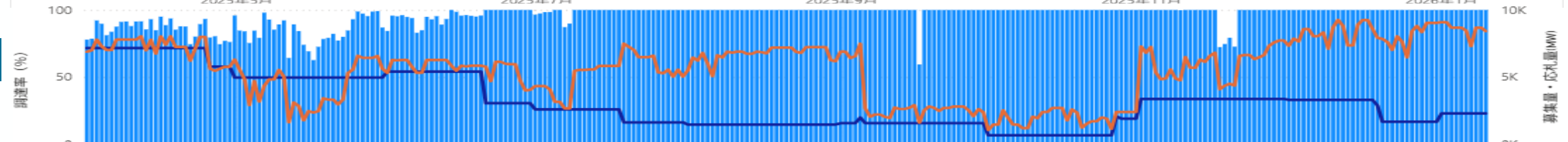
## 二次調整力①



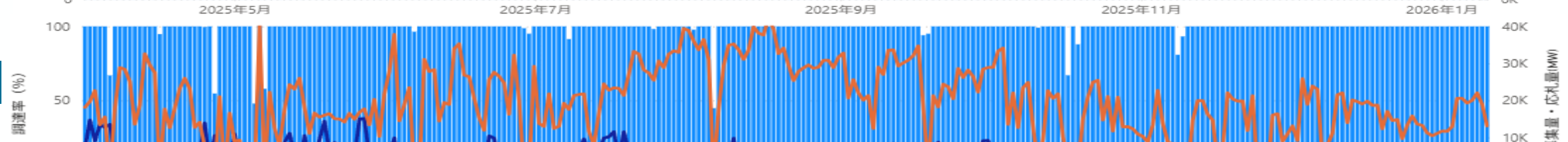
## 二次調整力②



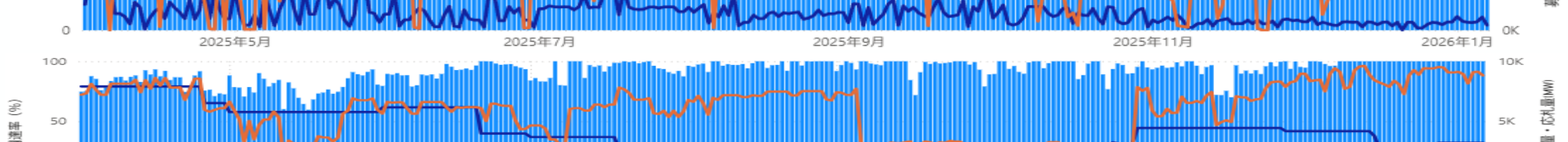
## 三次調整力①



## 三次調整力②



## 複合商品

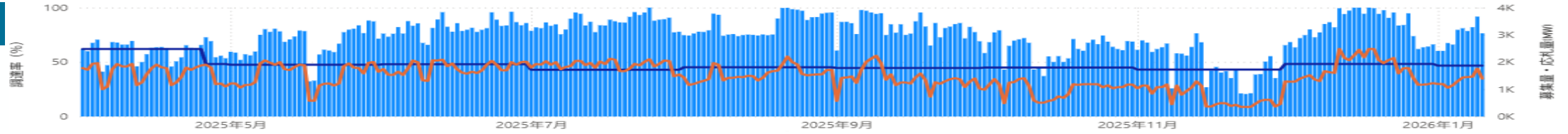


(※) 日単位での集計のため、募集量と応札量の関係と調達率が一致しない場合がある。

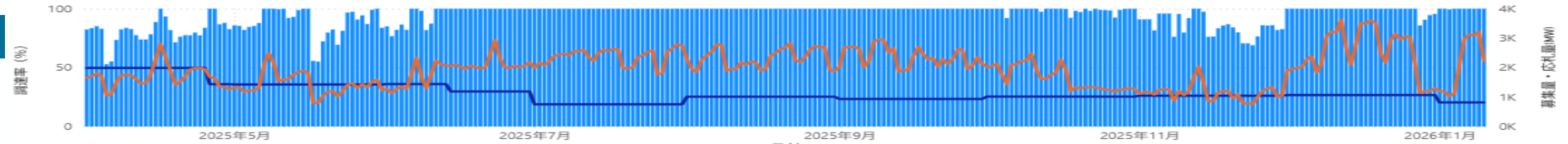
# 中国エリアの募集量・応札量・調達率 (2025年4月1日~2026年1月10日)

● 調達率 ● MW募集量 ● MW応札量

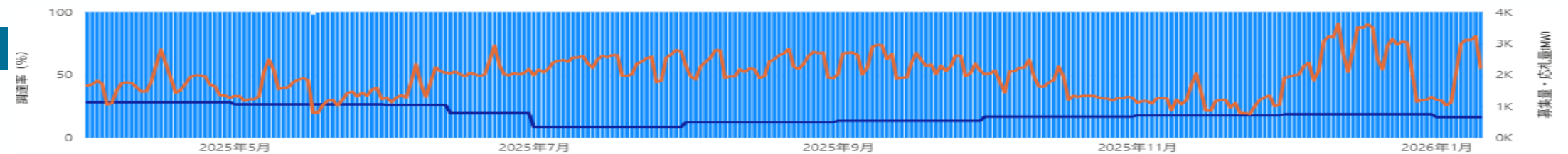
## 一次調整力



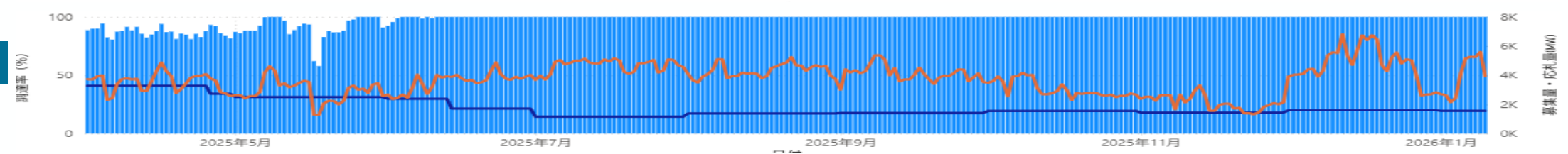
## 二次調整力①



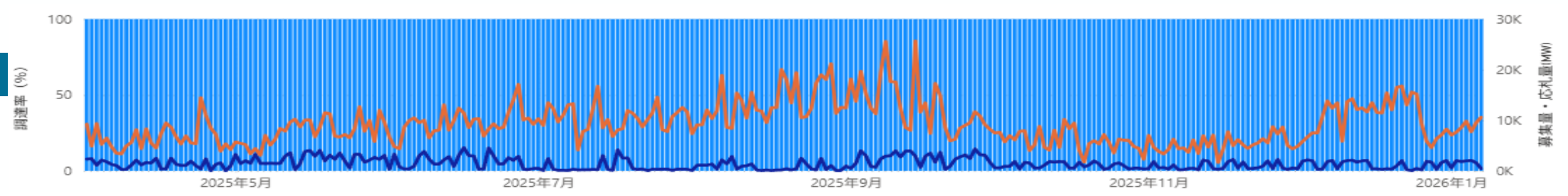
## 二次調整力②



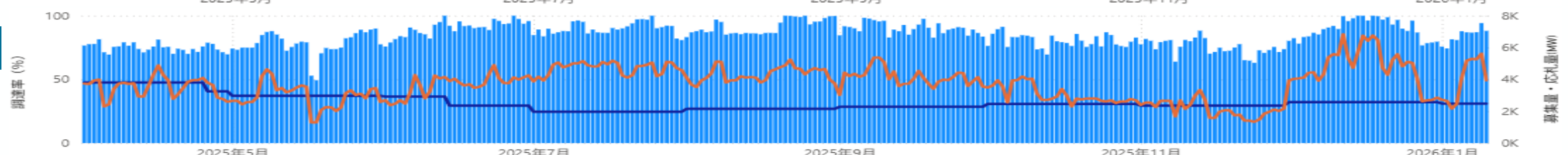
## 三次調整力①



## 三次調整力②



## 複合商品

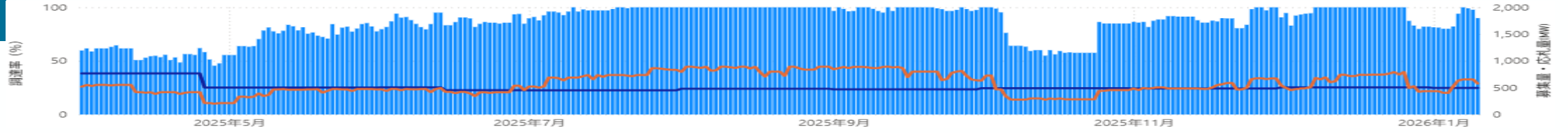


(※) 日単位での集計のため、募集量と応札量の関係と調達率が一致しない場合がある。

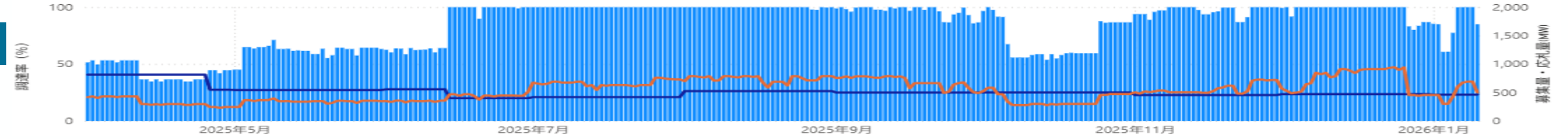
# 四国エリアの募集量・応札量・調達率 (2025年4月1日~2026年1月10日)

● 調達率 ● MW募集量 ● MW応札量

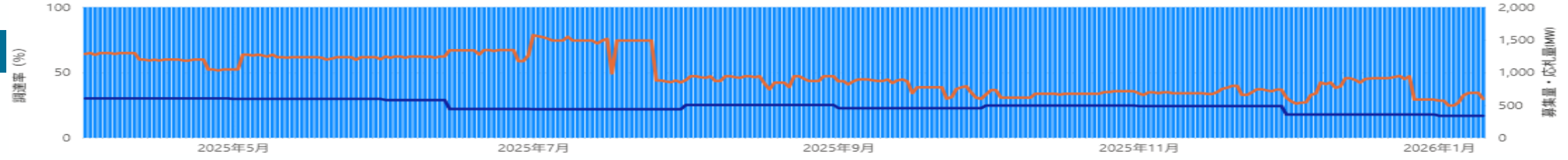
## 一次調整力



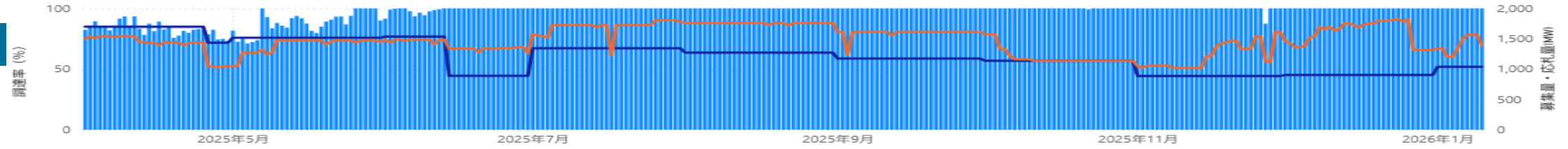
## 二次調整力①



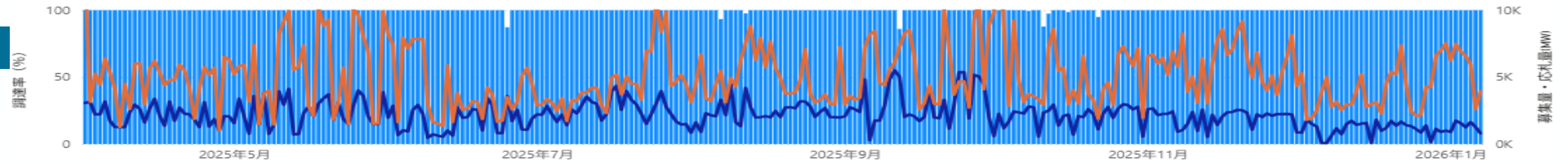
## 二次調整力②



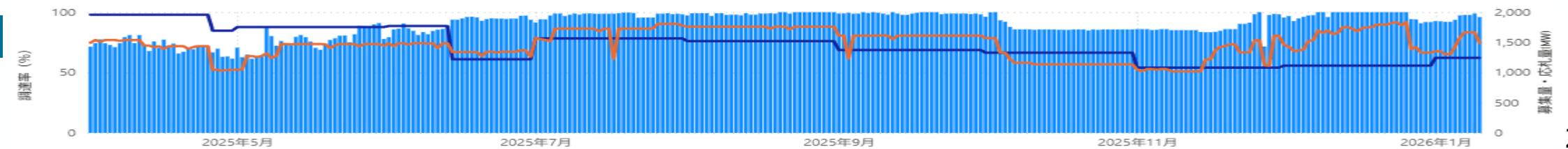
## 三次調整力①



## 三次調整力②



## 複合商品

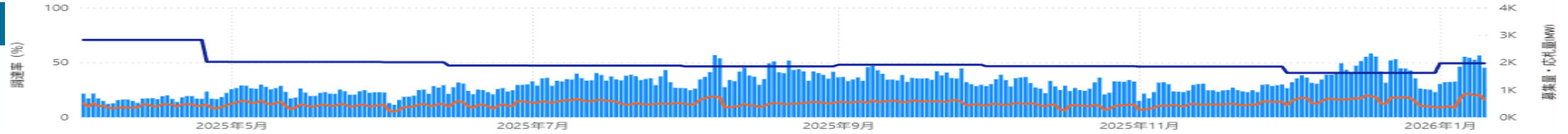


(※) 日単位での集計のため、募集量と応札量の関係と調達率が一致しない場合がある。

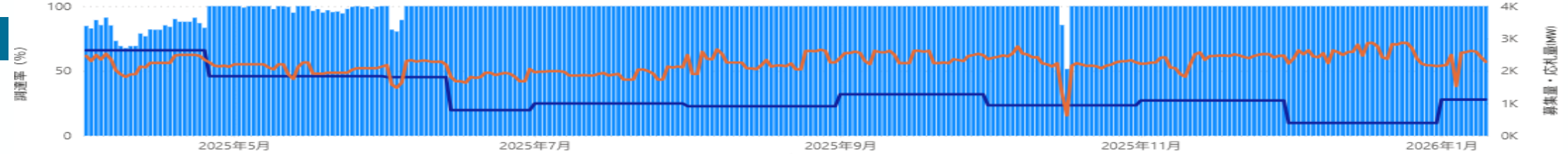
# 九州エリアの募集量・応札量・調達率 (2025年4月1日~2026年1月10日)

● 調達率 ● MW募集量 ● MW応札量

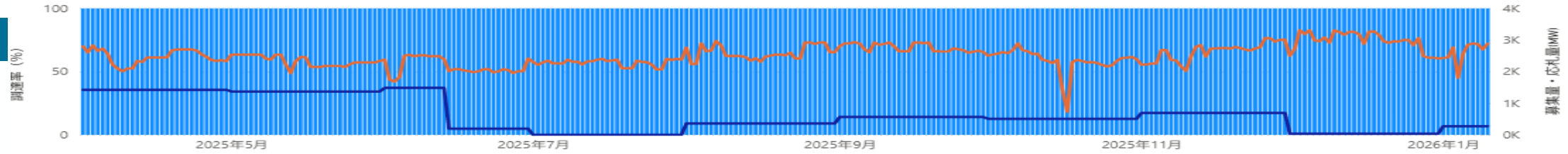
## 一次調整力



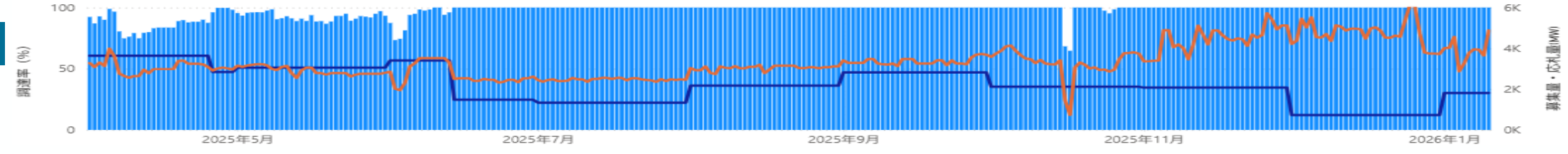
## 二次調整力①



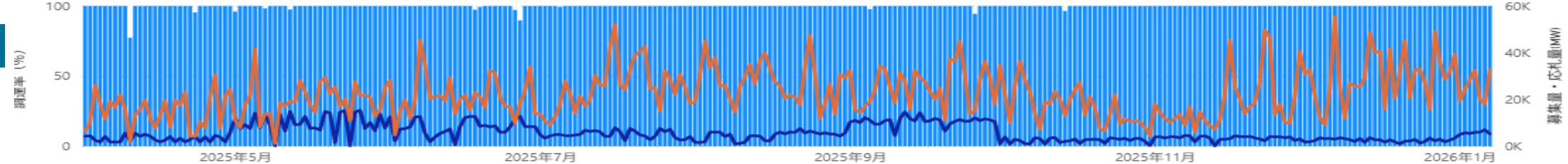
## 二次調整力②



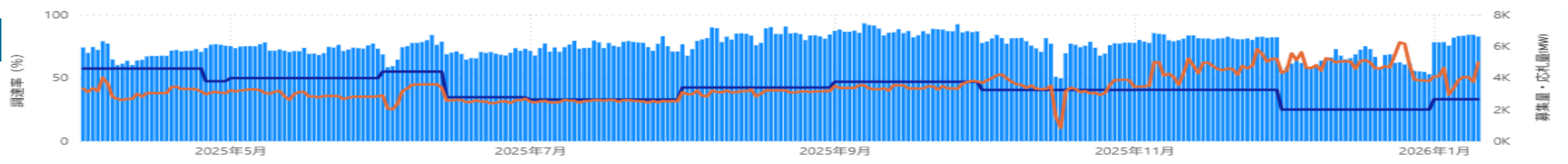
## 三次調整力①



## 三次調整力②



## 複合商品

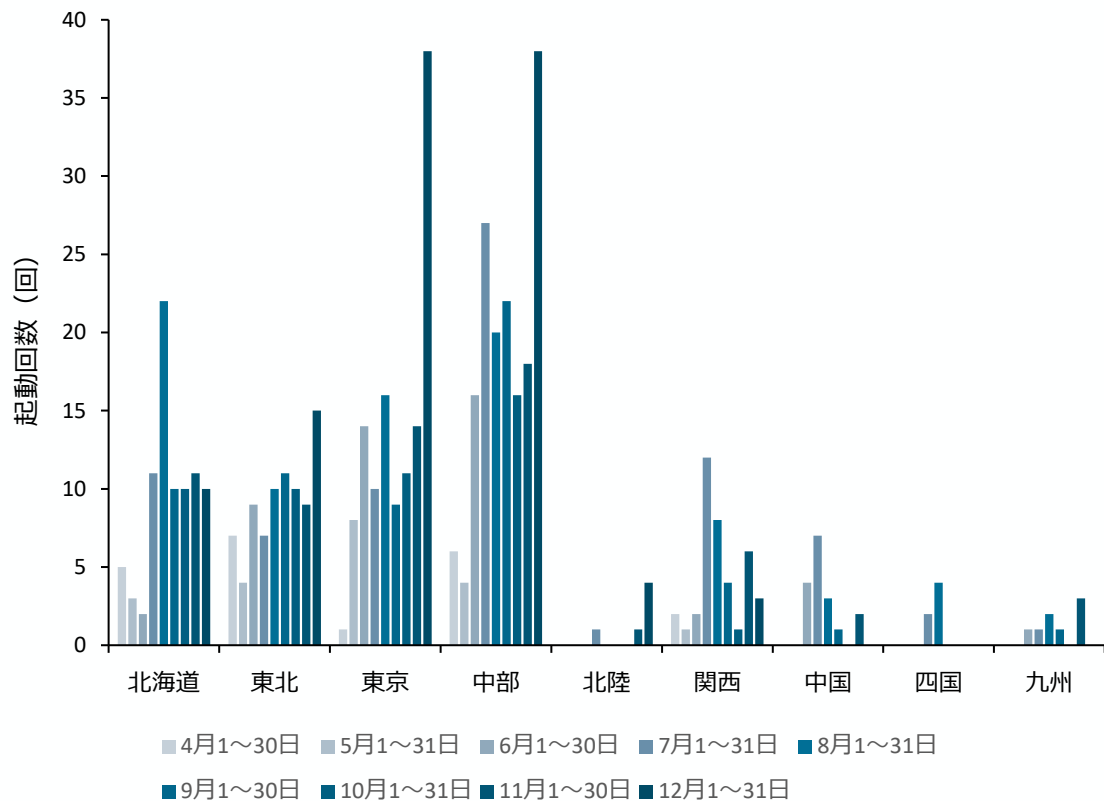


(※) 日単位での集計のため、募集量と応札量の関係と調達率が一致しない場合がある。

# (参考) 余力活用契約に基づく起動指令について (2025年4月1日～12月31日)

- 2025年12月までの余力活用契約に基づく起動指令の回数について確認した。
- 引き続き動向を注視していく。

余力活用契約に基づく起動指令の回数



(※) 上グラフの対象は、BG計画停止していた電源（GC以降に調整可能な電源を除く）の追加起動としている。

起動費と最低出力費用（12月は速報値）

	北海道	東北	東京	中部	北陸
4～6月	5.0億円	20.9億円	5.3億円	9.3億円	—
7月	2.6億円	4.0億円	8.7億円	13.3億円	0.2億円
8月	10.8億円	0.9億円	6.9億円	9.9億円	—
9月	8.0億円	2.8億円	3.9億円	9.5億円	—
10月	6.7億円	4.0億円	8.2億円	2.3億円	—
11月	4.4億円	0.3億円	7.7億円	5.4億円	0.2億円
12月	5.2億円	0.6億円	6.4億円	0.9億円	0.5億円

	関西	中国	四国	九州
4～6月	1.8億円	0.9億円	—	0.2億円
7月	5.7億円	1.9億円	1.7億円	1.3億円
8月	3.2億円	0.5億円	0.3億円	3.2億円
9月	2.3億円	0.3億円	—	2.0億円
10月	1.2億円	—	—	—
11月	3.4億円	0.6億円	—	1.3億円
12月	0.8億円	—	—	—

(※) 上表の費用には、起動済電源の余力を調整力として活用したコスト等は含まれておらず、余力活用電源の運用コスト全体を表しているわけではない点に注意。

(※) 12月は事業者から報告があった費用（速報値）のみ集計（中部エリアは起動費のみの報告のため、最低出力費用は来月以降の報告で反映予定。）

# (参考) 起動費等・経済差替に伴う事後精算について (2025年4月1日～11月30日)

- 起動費等事後精算及び経済差替に伴う事後精算の実績（2025年4～11月）は以下のとおり。
- 引き続き動向を注視していく。

## 起動費等事後精算

	北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州
4月	0.5億円	—	0.1億円	—	—	—	0.2億円	—	—
5月	—	—	0.5億円	0.0億円	—	—	0.1億円	—	—
6月	—	—	0.6億円	—	—	—	0.0億円	—	—
7月	0.3億円	—	0.4億円	0.0億円	—	—	0.1億円	—	—
8月	1.9億円	—	0.2億円	0.0億円	—	—	0.0億円	—	—
9月	2.7億円	—	0.3億円	0.1億円	—	—	0.4億円	—	0.0億円
10月	4.2億円	—	0.0億円	—	—	—	—	—	—
11月	5.4億円	—	—	—	—	—	—	—	—

## 経済差替に伴う事後精算

	北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州
4月	—	—	—	0.8億円 (304件)	—	—	—	—	—
5月	—	—	—	1.4億円 (655件)	—	—	—	—	—
6月	—	—	—	1.4億円 (499件)	—	—	—	—	—
7月	—	—	0.0億円 (2件)	1.2億円 (387件)	—	—	—	—	—
8月	—	—	0.0億円 (18件)	0.9億円 (273件)	—	—	—	—	—
9月	—	—	0.0億円 (17件)	2.9億円 (1,223件)	—	—	—	—	—
10月	—	—	0.0億円 (6件)	5.2億円 (2,156件)	—	—	—	—	—
11月	—	—	0.0億円 (1件)	3.3億円 (1,762件)	—	—	—	—	—

(※) 1,000万円未満は0.0億円と記載。

(※) 各一般送配電事業者からの情報提供に基づき事務局にて作成。

(※) 経済差替に伴う事後精算額は、一般送配電事業者から発電事業者への精算額。括弧内は経済差替実施件数。



1. 1月中旬までの需給調整市場の動き

**2. 2026年度における需給調整市場の地域間連系線の確保量について**

# 2026年度における需給調整市場の地域間連系線の確保量

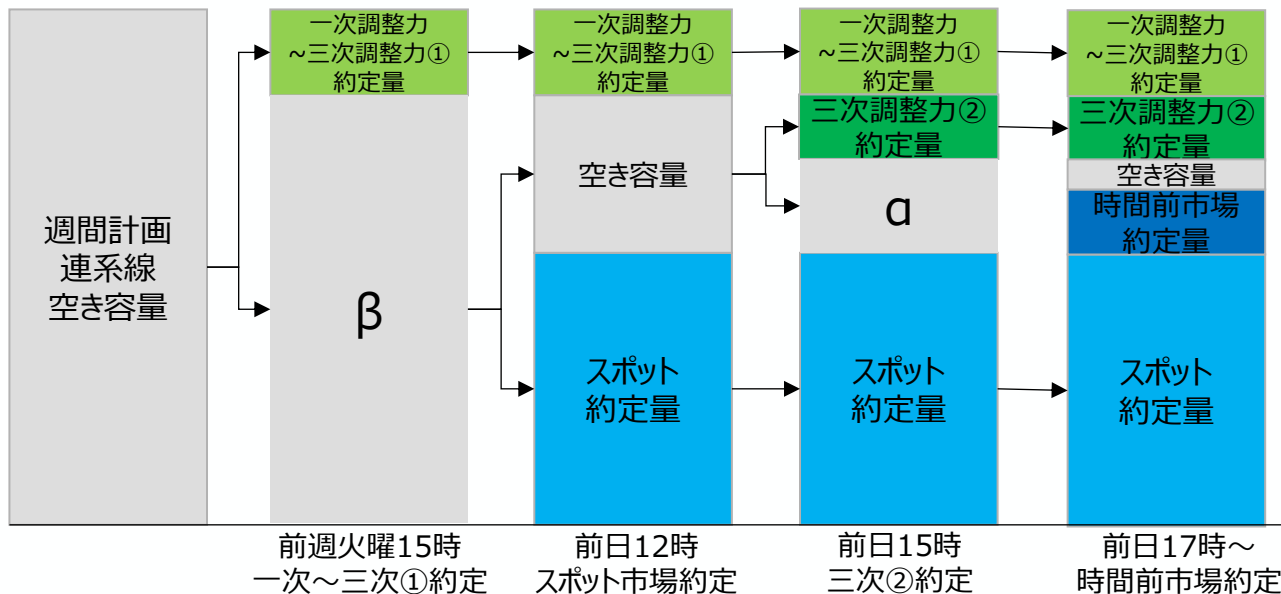
## 2026年度の方針について

- 需給調整市場では、広域調達された調整力を確実に運用できるよう、あらかじめ地域間連系線の容量を確保する必要があり、例年1月から3月まで頃を目処に本会合にて、次年度の地域間連系線確保量の算出結果を報告している。
- 地域間連系線の確保量については、調整力を広域調達することにより生じるメリットと、卸電力市場でのエリア間取引が制限されることによるデメリットを考慮し、一定の上限（需給調整市場で用いることができる量）を設定している。
- 具体的には、過年度の実績データ等を活用し、調整力の広域調達によるコスト削減額と市場分断による卸電力市場の調達費用の増加額を検討し、両者の合計の最大値を評価して、社会コストが最小となるように決定している。
- 本来であれば、2026年度に適用する地域間連系線の確保量についても、この時期に算出する必要があるところ。他方、2026年度からは全商品前日取引化に移行するため、分析に用いるデータの前提条件が異なってくることから、このタイミングで見直しを行うことは時期尚早な面がある。
- このため、2026年度の取引開始以降も当面は現在の設定を継続し、全商品前日取引化移行後の取引実績を一定期間（3、4か月程度）蓄積した上で、2026年度に適用する地域間連系線の確保量を算出し、その結果を本会合で報告することとしたい。

# (参考) 2025年度までの地域間連系線確保量の考え方

- 一次調整力～三次調整力①の調達は、前週火曜14時～15時の間に入札・約定処理が行われる。
- 三次調整力②の調達は、毎日、スポット市場終了後から時間前市場開始前までの、前日12時～14時に入札が行われ、14～15時の間に約定処理が行われる。
- $\alpha$ は時間前市場向けに残す連系線容量のことであり、 $\alpha=100\%$ のとき、スポット市場約定後の連系線空き容量は全て時間前市場のために確保される。逆に、 $\alpha=0\%$ のとき、連系線空き容量は全て三次調整力②のために確保される。
- $\beta$ はスポット・時間前市場向けに残す連系線容量のことであり、 $\beta=100\%$ のとき、連系線空き容量は全てスポット・時間前市場のために確保される。逆に、 $\beta=0\%$ のとき、連系線空き容量は全て一次調整力～三次調整力①のために確保される。
- なお、2026年度からは全商品前日取引化に移行するため、 $\alpha$ のみの設定となる。

## 2025年度まで



## 2026年度以降

